

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校教育活動にご支援・ご協力をいただきましてまことにありがとうございます。

さて、4月に実施されました6年生の全国学力・学習状況調査の結果をまとめましたので、ご報告いたします。ただし、この結果はあくまでも本年度の6年生のみの結果であり、全校児童の調査結果ではないことをご理解ください。

なお、この調査結果をもとに今後の本校の教育課程を見直ししていく予定でおりますことをお知らせいたしておきます。

○国語 A (主として知識をみる問題)

全体としてはまずまずの結果<本校 74.7%→全国 72.9%→市 73.6%>でした。項目別にみても話すことや聞くこと<82.7%→72.4%>、言語に関すること<74.8%→72.7%>、書くこと<74.0%→72.2%>、読むこと<70.1%→68.5%>ということになっています。

設問ごとに調べていくと、「文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する」は非常に高い正答率<91.3%→83.1%>となっています。これは、国語科学習等で培った力と考えられます。また、「話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する」も高い正答率<82.9%→72.5%>でした。これは、特別活動や総合的な学習で実践した力が生きたものと思われま

す。全国と比較して、通過率の劣ったものは次の項目です。・漢字を正しく書く<55.1%→59.3%>

上記の結果をふまえて、今後は基礎基本を大切にしながら「漢字の読み・書き」の力をつけるための努力をしていきたいと思っています。来年度に向けての大きな課題としてまいります。

○国語 B (主として活用をみる問題)

全体としてはまずまずの結果<本校 59.2%→全国 55.5%→市 57.7%>でした。項目別にみても話すことや聞くこと<55.1%→51.4%>、言語に関すること<74.7%→69.9%>、書くこと<36.7%→34.6%>、読むこと<61.0%→57.5%>ということになっています。

設問ごとに調べていくと、次の項目が高い通過率となっています。・付箋に書かれた内容を関係づけながら、最初にもった疑問を捉える<81.9%→71.9%>。以下の項目は全国よりも正答率が低くなっています。・詩の解釈における着眼点の違いを捉える<48.0%→48.7%>・二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く<48.0%→48.3%>

国語 B も国語 A とほぼ同様の結果が出ています。今後の対策としては、やはり「言語に関すること」を向上させる取り組みを実践していくことが第一と考えられます。

そこで、学校図書館等を活用して言語に親しむ機会を増やすことや基礎的なスキルの徹底を図っていきたくと考えております。

○算数 A (主として知識をみる問題)

全体としては全国平均に近い結果<本校 80.8%→全国 78.1%→市 78.7%>でした。項目別にみても数と計算<83.5%→81.9%>、量と測定<80.3%→74.9%>、図形<73.6%→72.0%>、数量関係<85.6%→81.5%>ということになっています。算数の基本である計算力や図形に少し弱さがあるようです。特に基本的な問題に対する簡単な部分でのミスが目立ちます。

設問ごとに調べていくと、次の項目が高い正答率となっています。・体積の単位と測定について理解している<90.6%→81.1%>・分数の相等及び大小について理解している<79.5%→72.7%>

以下の項目は全国よりも正答率が低くなっています。・割合が1より大きい場合、比較量の求め方が

乗法になることを理解している<71.7%→72.1%>・作図に用いられている図形の約束や性質を理解している<48.0%→52.1%>

具体的操作を重視した学習の展開を工夫していきたいと考えています。

○算数 B (主として活用をみる問題)

全体としてはまずまずの結果<本校 63.1%→全国 58.2%→市 61.7%>でした。項目別にみても数と計算<66.9%→61.5%>、量と測定<60.3%→56.6%>、図形<71.7%→65.8%>、数量関係<60.3%→56.4%>ということになっています。知識をみる問題に比べて、活用の問題の全国と比較した正答率が高くなっています。

設問ごとに調べていくと、次の項目が高い正答率となっています。・示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる<44.0%→33.3%>・二人のリズムが重なる部分を公倍数に着目して記述できる<70.1%→60.7%>

以下の項目は全国よりも正答率が低くなっています。・示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を理解している<55.1%→55.5%>・最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる<66.9%→69.3%>

算数では、活用力の充実に比べ、知識の弱さが気になります。基礎的なものを疎かにせず、反復練習を徹底して、基礎・基本の定着を図ってまいります。

○児童への質問

学校での様子や家庭での様子について質問をしている中から全国と比較して顕著な項目について抽出してみました。

・自分には良いところがあると思いますか。<20.9%→35.0%>

道徳教育や特別活動を中心とし、学校教育全体を通して自尊感情をもっと培っていきたいと考えています。これからも、教職員全体で児童に育成していかねばならないものであると考えています。各ご家庭でも、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

・スマートフォンや携帯電話等で通話やメールをしていますか。<67.4%→53.2%>

都会という立地条件がこの結果になって表れているのでしょうか。スマートフォンや携帯電話に関わった事件やメール等も社会的に問題になっていますので、各ご家庭でもお子様と使用についての約束等をしっかりと決めておいていただくようお願いいたします。学校でも折に触れ、児童に使用上の注意等につきまして指導をしてまいります。

・読書は好きですか。<53.5%→48.9%>

昨年に比べて読書が好きな児童が増えています。学校司書の配置が良い結果をもたらしていると思います。さらに図書室の整備の充実をしていきたいと考えています。今までも積極的に活動をしてくださっている読み聞かせボランティアなどの皆様のお力も借りながら、少しでも読書量の増加につなげていければと思っています。各ご家庭でもお子様に読書へのいざないをしていただければ幸いです。

全国学力調査の結果を簡単に報告させていただきました。学校としましては、児童の力が伸びてきていることを数字の上からも実感しております。ご家庭のご協力のおかげであると感謝しております。